

標茶町議会第3回定例会

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
2番	櫻井一隆	標茶町クリーンセンター計量棟に女性用トイレを設置すべき	標茶町クリーンセンター計量棟は女性用トイレがなく、不便である。速やかに改築に取りかかり、労働環境の改善に努めるべきと思うが、町長の考えを伺う。	町長	
11番	類瀬光信	1. 新型コロナウイルス感染症に対する経済的な負担軽減策を	<p>新型コロナウイルス感染症は、昨年5類移行後も流行を繰り返し、現在は第11波の渦中といわれている。ウイルスが短い周期で変異を繰り返しながら感染力を強めている感があり、町内でも、家庭、職場、保育園、学校、高齢者施設、障がい者施設などで感染者が絶えない。医療の逼迫や崩壊に至ってはいないが、感染の自覚がないままウイルスを拡散したと推測される例も散見されることから、感染予防対策の徹底が必要ではないか。さらに、下水道のモニタリングにより積極的に流行を把握する必要があるのではないか。</p> <p>また、新型コロナウイルスに感染し医療機関を受診すると抗ウイルス薬を5日分処方されることが多い。抗ウイルス薬は、重症化を防ぐうえで欠かせないが、自己負担3割の場合、15,800円から30,000円の高額な負担が生じる。そのため、経済的な理由によって抗ウイルス薬の処方を拒んだり、そもそも受診しない事例が発生しているとの報道もある。本町では経済的な理由によって受診を控える、あるいは治療薬の処方を拒むなどの事例はあるか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関しては、対症療法のみでは回復に時間がかかり重症化リスクが高まる。これは経済活動を長期間妨げるほか、ウイルスの拡散によって高齢者や妊婦、疾患を有する者の生命の危機を招きかねない。こうしたことから、町民が躊躇することなく抗ウイルス薬の処方が受けられるよう、さらには有効な予防手段であるワクチンを多くの町民が接種できるよう、それぞれの費用を助成する考えはないか。</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
11番	類瀬光信	2. 有害駆除の体制強化と町職員の安全確保、危険手当支給を	<p>北海道は、ヒグマの捕獲目標を2025年から2034年までの10年間で雌雄合計13,290頭に設定する方針を明らかにした。本町を含む道東・宗谷東部管内では、1,100頭（うち雌370頭）が目標となる見通しだ。目標達成には、過去最多のペースで捕獲を継続しなければならず、地元猟友会の協力を得るための条件整備と、行政の体制強化が欠かせない。</p> <p>また、異常ともいえる気温の高い状態が続き、町民にとって危険なスズメバチの活動が活発化している。生活圏内でスズメバチに遭遇して刺されたり、営巣を確認して作業を中断せざるを得ないなどの事例が増えているようだ。町内に駆除業者はなく、町民から巣の撤去や駆除の相談があった場合、消防署と役場が対応しており、昨年度は役場だけで200件超に対応したと聞く。今後益々増加すると思われる各種有害駆除にあたる町職員の装備の充実や、危険な職務に対する手当、事故に対する補償が必要との観点から以下について聞く。</p> <p>①ヒグマ、スズメバチ等の危険を伴う有害駆除に職員が従事している根拠と実態。 ②危険を伴う有害駆除に従事する職員に対する手当の有無。事故に対する補償の有無。 ③職員の安全を確保するために必要な装備の現状。 ④装備の拡充と手当を支給する考えはあるか。 ⑤野生生物の生態や駆除に精通した専門家を配置する考えはないか。</p>	町長	
10番	渡邊定之	スマート農業の推進ではなく家族農業による持続可能な経営を	<p>・農業の憲法といわれる食料・農業・農村基本法が25年ぶりに改められた。食料自給率は依然として上がらない中、就業者の高齢化が進み後継者の減少も深刻になっている。また、国内農業が、生産資材の大半を海外に依存しており、極めて脆弱（ぜいじゃく）なことも浮き彫りになっている。国際価格の変動に直撃され、肥料・飼料は2年前の1.5倍に高騰し、安定的な確保さえおぼつかない事態だ。農産物の販売価格はコロナ禍などで低迷、農業の経営条件は悪化するばかりだ。とりわけ酪農は、牛乳を「搾れば搾るほど赤字」という悲惨な状況に追い込まれている。そのような状況の中で「食料の安全保障」としてスマート技術を活用した生産性の向上により、「みどりの食料システム戦略」の名のもとに農業を輸出産業に転換することを政策上位置付けるとしている。令和元年度に「畜産経営対生産性向上対策事業」（畜産ICT事業）を創設したが、令和5年度補正予算からは、畜産クラスター事業におけるICT化等機械装置等導入事業として継続されている。</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
10番	渡邊定之		<ul style="list-style-type: none"> ・このように農業の大規模化が推進され農業の工業化が進む状況下、本町の今後の酪農の方向性に対し町長の所見はどうか。スマート農業の推進は多額の負債を抱え込む結果となり、家族農業による持続可能な経営が困難になると思うがどうか。 ・また、スマート農業の推進は、後継者、新規就農者にとっては、ますます選択肢が狭められると考えるが町長の所見を聞く。また本町独自支援策等の検討はあるのか。 		
		学校の猛暑対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・この夏も猛暑により学校生活での子供たちの悲痛な声が父母を通じて多く聞こえてくる、エアコンについては、議論されているが見通しについて伺う。 ・猛暑対策としてどのような対策を講じているのか、登下校の際についても子供のクールビズなどの対応はしているのか伺う。 	教育長	
6番	齊藤昇一	・標茶町営プールの老朽化問題について	<p>標茶町営プールは、現在市街・磯分内・虹別・茶安別と4地区にあり、茶安別プールを除き建設より約40年を経過しており、すでに老朽化により一部機能が損なわれていると聞いております。この問題は、全国の自治体が抱えており、安全性の確保、人口減による利用者の減少、運営コストの増加など複数の側面から深刻なものとなっております。老朽化により機能が損なわれると地域社会の活力にも悪影響が及ぶ可能性があります。また、利用者の半数以上が幼児・小学生・中学生が占めており子供たちの健康増進にも影響を及ぼすと考えられます。可及的速やかに改修実施計画を策定すべきと思われませんが教育長の所見を伺います。</p>	教育長	
8番	長尾式宮	仕事に必要な資格取得費用の一部補助を	<p>現代社会では仕事をするうえで様々な資格を取得する必要がある。普通自動車免許をはじめ、職務によってさまざまな資格が必要とされている。</p> <p>現在標茶町も全国的な例にもれず少子高齢化の影響下、人材不足が町内でも懸念されている。</p> <p>しかし町内には資格が不足しているために思った仕事に就けない、職務上必要であるが近年の資格取得費用の上昇で費用を捻出するのが難しく業務に支障が出ているなど、町内就労人口の妨げとなっている。</p> <p>町内経済の振興を図るためにも就労人口の維持は必須条件である。一部補助には一定の条件を含めたルール作りも必要であるが、町民が働きやすい環境を整備するためにも資格取得費用の一部補助は必要と思うが町長の所見を伺う。</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
5番	鴻池智子	標茶霊園内の環境整備を	<p>霊園内の整備に関し2点伺います。</p> <p>1点目として、車椅子対応のバリアフリー型トイレに改修すべき。霊園入り口に設置されているトイレは表示板も小さく、その建物がトイレであると認識しづらく、男女兼用で1個室であり、段差もあります。このたび、霊園内に設置された合葬墓の駐車スペースに車椅子マークが書かれました。体の不自由な方に対する配慮と思いますが、この方々は今のトイレを使用することはできません。そこで、車椅子の方も使用できるバリアフリー型のトイレに改修すべきと思うが、町の考えを伺う。</p> <p>2点目、休憩できる東屋を設置すべき。霊園内に休憩できるベンチがあれば助かるというお話を聞く機会がありました。現在、私が確認したベンチは6基ありました。合葬墓横に1基、1番高い場所に1基、中間位置に4基あります。そのうちの中間位置にある4基については、老朽化しており、そこに腰を掛けるというのを、ためらうようなベンチで、事故につながるおそれもあります。そこで、最近は暑い日も多くなってきていることも考え、日差しを遮り、暑さ対策にもなる、休憩スペースとして、東屋を設置するべきではと思うが、町の考えを伺う。</p>	町長	
7番	黒沼俊幸	特別養護老人ホームの介護職員は増員されたか	<p>特別養護老人ホームやすらぎ園は本町老人福祉の拠点であり、介護施設でなくてはならない施設である。</p> <p>昭和49年からの開設で、開設50周年を迎えたが、介護職員は増員されたか。</p> <p>また、この施設の建て替えはどのように検討しているか。</p> <p>近隣の町村では2階建てのユニットケア型施設がつくられており、本町も新しいタイプの施設にすべきと考えるがどうか。</p> <p>ユニットケア型は介護職員の労働が楽になると思うが、この点はどうか。</p>	町長	
4番	鈴木裕美	化学物質過敏症に対する対応を	<p>洗剤や芳香剤など、日常生活で使用するものに含まれる化学物質により、頭痛、めまい、はき気、倦怠感などの症状があらわれる、化学物質過敏症は軽度の人を含めれば10人に1人は何らかの物質に対する過敏症があるとも言われ、町民の中にも苦しみ悩んでいる方がおられます。</p> <p>外出先や学校などで原因物質に接した家族や子どもと触れても症状があらわれることがあるとも言われています。</p> <p>化学物質過敏症対策を真剣に取り組んでいる自治体があると聞いておりますが、本町も町民の健康を守るため、公共施設、学校、保育園などでどのような洗剤（メンテナンス用も含め）、芳香剤などが使用されているか調査すべきと考えますが、い</p>	町長 教育長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める者	答弁内容
4番	鈴木裕美		<p>かがでしょうか伺います。 さらに化学物質過敏症対策として、町民に対する情報提供などを行ってはどうか伺います。 また、学校給食共同調理場では、2022年以前は食器の洗浄に合成洗剤を使用していなかったと承知していますが、現在はどうか伺います。</p>		